

Panasonic

KAIROS

2025年10月

IT/IPプラットフォーム“KAIROS”

Kairos Core 200(メインフレーム)

AT-KC200TL1

本体希望小売価格 7,596,000円(税別)

KAIROSのライブ映像イノベーションをSDI環境で実現する Kairos Core 200 AT-KC200TL1

自由で多彩な映像制作

ME数やKEY数に制約されないマルチレイヤー構成、32:9や縦型などの変則的な画角の映像制作ができるCANVAS機能、規定フォーマットにとられない柔軟な解像度対応*など、GPUによる映像処理で自由で多彩な映像制作を実現します。

※ソフトウェアVer.2.0以降、ST 2110およびHDMI入出力時、最大9.8Mピクセルまでの解像度に対応。

効率化と生産性向上

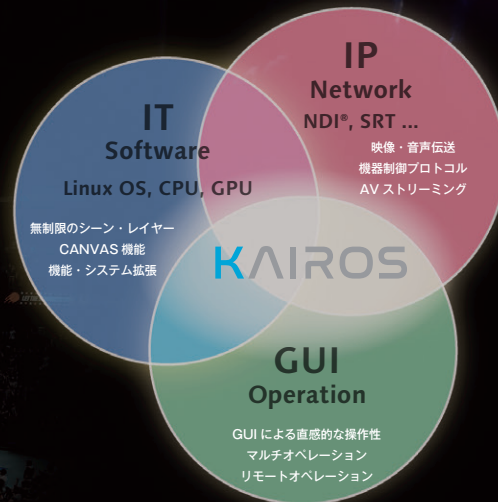
ネットワーク接続で、1システムを複数のコントロールパネルやGUIソフトウェアから操作可能。加えて、1台のコントロールパネルで最大2台までのメインフレームを操作できるMultiple Core Control※1に対応。リモートオペレーション、シーン(エフェクト)の事前の作り込み、Kairos Emulator※2を用いたトレーニングも可能です。

※1:ソフトウェアVer.1.8以降対応。 ※2:ソフトウェアVer.1.7以降対応。

高い柔軟性と拡張性

映像入出力はSDIなどベースバンドに加え、ST 2110※、SRT、NDI※などIPもサポート。オープンアーキテクチャーのソフトウェアベースのため、外部デバイスや他社システムとの連携にもバージョンアップにより容易に対応します。

※AT-KC200TL1でST 2110入出力をご使用になる際は販売店・取扱店にご相談ください。



AT-KC200TL1 フロントパネル



AT-KC200TL1 リアパネル

●NDI®は Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。

Kairos Core 200 AT-KC200TL1 主な仕様

総合

電源(リチウム電池電源対応)：	AC 100-127V/200-240V、50/60Hz、10A/5A
消費電流：	10.0A / 5.0A
動作周囲温度／保存温度：	5℃ ～ 35℃／-20℃ ～ 60℃
動作周囲湿度：	10% ～ 90%(結露なきこと)
質量：	約 17.8kg(付属品・オプション除く)
外形寸法(幅×高さ×奥行)：	430mm × 176mm × 505mm (4RU)(突起部を除く)
OS：	Linux

映像入出力数 (運用による入出力数についての詳細はウェブサイトをご確認ください。)

SDI： ^{※1}	1.5G：24入力/12出力(最大32入力/16出力) ^{※1} 3G：24入力/12出力(最大32入力/16出力) ^{※1} 4K：12入力/6出力(最大16入力/8出力) ^{※1}
HDMI： ^{※2}	最大8入力または最大8出力 ^{※2}
ST 2110： ^{※3}	1.5G：64入力/40出力 3G：32入力/40出力 4K：8入力/10出力

ST 2022-リダングダンシー： ^{※3}	入力は半減せず／出力は半減
NDI [®] High Bandwidth：	2入力/2出力、音声：各16CH
SRT/RTSP/RTP/RTMP：	HDのみ、8入力/2出力(RTSPは入力のみ)

音声入出力数(Audio1とAudio2の両方を使用した場合の入出力数を記載しています)

ST 2110： ^{※3}	64入力/40出力
ST 2022-リダングダンシー： ^{※3}	入力／出力ともに半減せず

入出力端子

QSFP： ^{※3}	100G QSFP28 × 2
Displayport (MV用)：	DisplayPort 1.4 × 4
LAN：	RJ-45 × 2、1GbE
SDI IN/OUT：	マイクロBNC、24入力/12出力(最大32入力/16出力) ^{※1}
HDMI IN/OUT： ^{※2}	HDMI Type-A、最大8入力または最大8出力 ^{※2}
REF IN/OUT：	マイクロBNC、3入力/3出力(最大8入力/8出力) ^{※1}
VGA：	Dsub-15ピン(システムインストール用)
USB：	USB3.2 Gen1 Type-A×4(システムインストール用)

映像フォーマット

4K	3840×2160	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
FHD	1920×1080	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p、60i、59.94i、50i
HD	1280×720	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
SD NTSC ^{※4}	720×480	59.94i
SD PAL ^{※4}	720×576	50i
DCI 2K ^{※4}	2048×1080	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
DCI 4K ^{※4}	4096×2160	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
16:9 ^{※4}	1366×768、60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p 1600×900	
4:3 ^{※4}	640×480、1024×768、1400×1050、1600×1200	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p
16:10 ^{※4}	1280×800、1440×900、1680×1050、1920×1200、25p、24p、23.98p 3840×2400	
5:4 ^{※4}	1280×1024	60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p

- 上記フォーマット以外に、最大9.8Mピクセルまでの任意の解像度に対応(最小4ピクセル単位)^{※5}

カラーモデルとビット深度／音声フォーマット

色空間とビット深度：	YCbCr 4:2:2 - 8/10/12 bit、YCbCr 4:4:4 - 8/10/12 bit ^{※4} 、RGB - 8/10/12 bit ^{※4} 、RGBA - 8/10/12 bit ^{※4} 、Key - 8/10/12 bit ^{※4}
------------	---

音声フォーマット：	ST 2110-30(AES67) ^{※1} 、48kHz/24bit
-----------	--

同期

PTP同期：	QSFP、GbEポートともに対応
F5(フレームシンクロナイザー)：	全入力チャンネル毎、常時ON(ON/OFFなし)
フレームデレイ：	0フレーム～12フレーム、1フレームステップ
レイテンシー：	最小1フレーム

プレーヤー

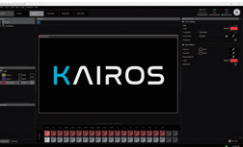
静止画保存：	7GB、4Kまで
RAM プレーヤー：	8 CH、容量32GB、非圧縮 ^{※6}
クリッププレーヤー：	2 CH、容量400GB(オーディオプレーヤーと共有) 圧縮、AVC-Intra/H.264/DN×HD/ProRes
オーディオプレーヤー：	4 CH、容量400GB(クリッププレーヤーと共有) 圧縮、WAV/MP3/Ogg/FLAC/AIFF

機能 (こちらに記載している機能は一部です。詳細はウェブサイトをご確認ください)

マルチビューアー：	HD/4K×4出力(各出力最大36PiP)、GPUメーター、オーディオレベルメーター、時計、ベクターコース、ウェーブフォームなど
キャンパス：	最大8K(32Mピクセル)
レイヤー：	レイヤー数／シーン(ME)数／キーヤー数の制約なし、GPU性能に依存、GPUメーターで使用量を視認可能
エフェクト：	ルミナスキー、クロマキー、DVE(2D/2.5D)、ソフトボーダー、コーナー固定、カラーコレクション、クロッピング、Film Look effect ^{※7} 、Glow Effect ^{※7} 、など
トランジション：	マルチミックス、オフセットトランジション、トランジションエフェクト
マクロ：	シーン固有マクロ、LUAスクリプト対応
カラーマット：	バイカラーウォッシュマット、テストパターン
その他の機能：	オーディオミキサー ^{※8} 、タイムリジェネレーター、スナップショット、ユーザーマネジメント機能、複数シーン同時コントロール機能 ^{※13}
対応規格・プロトコル：	REST API、Ross Talk ^{※9} 、TSL 5.0 ^{※10} 、NMOS ^{※10} 、AMP ^{※11} 、ST 2110-10 ^{※11} 、ST 2110-20 ^{※11} 、ST 2110-30 ^{※11} 、HTML5 Graphics ^{※12} 、SNMP ^{※7}

- ※1：SDI入出力ボードを3枚装着済み、1枚のみの追加装着が可能。
- ※2：別売のHDMI入力ボード AT-KC20M2G、またはHDMI出力ボード AT-KC20M3Gが必要です。AT-KC200L1は最大2枚の装着が可能。記載の入出力数は最大枚数を装着した場合です。
- ※3：AT-KC200TL1でST 2110入出力をご使用になる際は販売店にご相談ください。使用時、ポートに制約が入ります。ウェブサイトの仕様表にてご確認ください。
- ※4：ソフトウェアVer.1.8でST 2110入出力時に対応。ソフトウェアVer.2.0以降、ST 2110とHDMI入出力時に対応。ただし解像度によっては入出力数が減少する場合があります。
- ※5：ソフトウェアVer.2.0以降、ST 2110とHDMI入出力時に対応。ただし解像度によっては入出力数が減少する場合があります。
- ※6：SDI入出力ボード、HDMI入力ボード／出力ボード装着時、RAMの最大容量が減少します。またVer1.8にアップデートした場合、最大容量が2GB減少します。詳細は当社ウェブサイトをご確認ください。
- ※7：ソフトウェアVer.1.7.0以降対応。
- ※8：ご使用には別売ソフトウェアキー AT-SF005Gの購入が必要です。
- ※9：ご使用には別売ソフトウェアキー AT-SFE01Gの購入が必要です。
- ※10：ご使用には別売ソフトウェアキー AT-SFE03Gの購入が必要です。
- ※12：ソフトウェアVer.1.8以降対応。
- ※13：ソフトウェアVer.2.0以降対応。
- NDI[®]は Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。

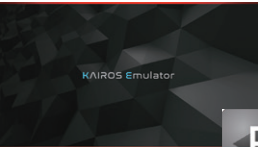
KAIROS システム構成機器



Kairos Creator(GUIソフトウェア)

AT-SFC10G (ソフトウェアキー)

直感的で使いやすいGUIで、入出力やシーン・レイヤーなどの設定が可能。
OS:Windows10/11、macOS(Ventura/Sonoma/Sequoia)



Kairos Emulator

スタジオ以外の場所や自宅などオフライン環境でも Kairos Creator を用いて制作やトレーニングが可能な無償ソフトウェア。
OS:Windows10/11
※KAIROSソフトウェア Ver.1.7.0以降対応。
Kairos Creatorの一部の機能は使用できません。



Kairos Control(コントロールパネル)

AT-KC10C1G (スタンダードタイプ)
本体希望小売価格 2,781,000円(税別)
AT-KC10C2G (コンパクトタイプ)
オープン価格

■ KAIROSアライアンスパートナーズ



KAIROSアライアンスパートナー
および動作確認済機器の最新リスト
はウェブサイトにて公開しています。



■ KAIROS サポート情報



パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号
このフライヤーの内容についてのお問い合わせは上記にご相談ください。
このフライヤーの記載内容は2025年10月現在のものです。
●製品の色は印刷物ですので実際の色と多少異なる場合があります。
●製品の定格およびデザインは改善等のために予告なしに変更する場合があります。
●実際の商品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。



詳細についてはパナソニックの
IT/IPプラットフォームの
ウェブサイトをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-jp/
products-services/proav_it-ip-platform

SP-C-KC200TL1JPZ5